



ごあんぜんに

Vol. 37

四 国 地 方 整 備 局
港 湾 空 港 部 室
工 事 安 全 推 進 室

2019. 07. 01



令和元年度 第1回 工事安全強化期間

(令和元年 7月1日 ~ 7月15日)

安全強化期間 スローガン

「ごあんぜんに！」

大事なかけ声 現場の笑顔



日頃より、工事安全活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

四国地方整備局の港湾空港関係直轄工事においては、全国安全週間（主唱者：厚生労働省・中央労働災害防止協会）を含む7月1日～7月15日を第1回工事安全強化期間と定め、関係機関および関係業団体とともに事務所職員、本局職員が各地で合同安全パトロールを行います。

本強化期間中は、今回のスローガン（標語）を用いた安全ポスターを事務所および各現場に掲示するとともに、関係者全員が安全ワッペンを装着して、安全意識のさらなる高揚をはかり、一丸となって無事故・無災害を目指します。

今回のスローガンは、作業現場におけるかけ声の徹底による事故の防止を目的としており、この工事安全強化期間をきっかけに、新たな場面でのかけ声の発案など現場内で意見交換して頂ければと考えています。

安心安全な建設現場を目標に、安全対策を確実にを行い、作業完了いただけけるようよろしくお願いいたします。

○港湾・空港直轄工事における事故発生状況

平成30年度の港湾空港関係直轄工事（全国の港湾、海岸、空港等）にて発生した事故の死傷者は死亡者ゼロ、休業4日以上を負傷者15人でした。公衆災害（第三者、物損）は26件発生しており、公衆災害（第三者、物損）の防止対策も重要となっております。また、四国地方整備局管内においては、休業4日以上・未滿ともに負傷者ゼロとなっております。

全国における港湾空港関係直轄工事事務所事故発生状況（※負傷事故：休業4日以上）

単位(人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
死亡者数	2	0	2	0	0
負傷者数	12	9	18	11	15
計	14	9	20	11	15

四国における港湾空港関係直轄工事事務所事故発生状況（※負傷事故：休業4日以上）

単位(人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
死亡者数	0	0	0	0	0
負傷者数	1	0	0	0	0
計	1	0	0	0	0

令和元年度の四国地方整備局における港湾空港関係直轄工事について、過去に管内で発生した事故の再発防止等を考慮して、次のとおり工事事故防止に関する重点対策(案)を策定しましたので、ご協力をお願いします。

～四国地方整備局における港湾空港関係直轄工事の事故防止に係る令和元年度重点対策(案)について(要約)～

1. 施工計画書の安全面からの点検強化
2. 安全協議会等での働きかけ及び安全パトロールにおける確認
 - ①はさまれ・巻き込まれ事故の防止対策
 - ②重機等との接触事故の防止対策
 - ③墜落・転落事故の防止対策
 - ④飛来・落下物による事故の防止対策
 - ⑤海中転落事故の防止対策
 - ⑥潜水作業事故の防止対策
 - ⑦物損事故の防止対策
 - ⑧曳航作業等における事故の防止対策
 - ⑨建設機械・作業船の作業前点検の徹底（※今年度追加）
 - ・建設機械・作業船の使用に当たり、安全に使用できるための点検を徹底する。
3. その他
 - ・玉掛作業時の事故防止について
 - ・作業員の健康管理について
 - ・熱中症予防対策について
 - ・作業員の不安全行動について
 - ・工事現場周辺以外で発生した事故について

○熱中症予防対策について

平成30年における職場での熱中症による死亡者数は28人と、平成29年と比べて約2倍となりました（内、建設業は平成30年：10人と平成29年に比べて2人増加）。死傷者数（死亡者数と休業4日以上の上業務上疾病者数を加えた数）は、1,178人と前年の2倍を超えました。熱中症による年間の死傷者数は、近年400～500人台でしたが、1,000人を超えたのは、過去10年間で最多となっています。熱中症で死亡した28人の状況を見ると、WBGT値（暑さ指数）^{*1}が、基準値を超えて熱中症の発生リスクが高まっていたと推測されます。

今年度は既に真夏日^{*2}を記録しておりますが、これからの季節はさらに暑くなりますので、熱中症による労働災害ゼロを目指し、熱中症予防の取組、作業員の皆さんの健康状態の配慮などの対策にご協力をお願いします。

*1 WBGT値（暑さ指数）とは

気温に加え、湿度、風速、輻射（放射）熱を考慮した暑熱環境によるストレスの評価を行う暑さの指数

*2 真夏日とは

日中の最高気温が30℃以上の日

あとがき

みなさまのご協力により、四国管内では平成30年度において「工事死傷事故発生件数ゼロ」を記録しております。

建設業では「ワーク・ライフ・バランス、休日確保、担い手育成」などの取組みが行われていますが、安全がすべての基礎となっていますので、引き続き、無事故・無災害の取組をお願いします。

